

#### 4 大学学生交流会 in 本庄 感想文

先進理工学専攻 2年 諏訪康貴

今回の4大学学生交流会のメインワークショップでは「リーディング博士のキャリアデザイン」という題で大木博先生より講義を受けました。なかでも心に残ったのは「1000時間の投資」と「ストレスコントロール」の内容です。「1000時間の投資」は社会人にとって仕事以外の時間で年間1000時間を作り、将来や生活に投資するという内容でしたが、学生時代は投資に使える時間が社会人とはいずれ異なり、いかに時間を無駄にせずタスクを積み上げるかで人生が変わると思えました。

「ストレスコントロール」では今まで少しでもストレスがたまると発散していた自分を鑑みて、効率が悪かったと感じました。大木先生によると適度なストレスで能率・生産性は向上するとの事だったので、単にストレスを発散するだけではなく、能率というファクターを考慮に入れた上で生活に取り入れていくストレスコントロールの大切さを学びました。

その後のグループワークでは将来に対して自分たちで自由にテーマ設定を行い、テーマに対して「今自分たちが何をすべきか」まで議論しました。自分たちのグループでは「将来働きやすい(能率が高い)環境を作るにはどうすればよいか」をテーマとし、今からやっておくべき事を考えました。グループにはベトナムからの留学生がおり、慣れない英語の議論で深くまで追求できるかが不安でしたが、日本人にはない働き方の視点を与えてくれ、意義ある議論が行えたと思えます。議論の中で得た自分にはなかった視点として、トップダウンでもボトムアップでもない双方向的な関係構築の大切さ、**fair competition**の難しさなどがありました。議論を効率的に進める中で博士実践特論やエネルギー特論などのリーディングの授業で学んだ「テーマの設置方法」、「ラベリング」などの技術が極めて役に立ち、中心となって議論することができました。授業で得たものを実践したことで自らの成長を確認できたと思えます。

その後は学生間の交流に勤しみました。過去に出た学生交流会では各々の研究内容やプログラムのフレームワークを掴むことのできる時間が無かったので、今回実施した学生プレゼンテーションの時間はとても有意義でした。他にもBBQや卓球大会などを通して大学間のプログラムの違いや、今回の交流会では参加者の約半分が女性であったと言うことで性別による考え方の違いを知ることができました。

次の日に東京大学の横野先生、お茶の水女子大学の吉田先生、早稲田大学の朝日先生の講演を聴きました。特に横野先生と吉田先生の講演は普段早稲田大学の教授たちの考えを比較的多く聞いている自分にとっては新鮮なもので、自身の立場の客観視に役立ちました。特に吉田先生の2つのメジャーを持つという考え方に共感し、実践していこうと思えました。

総括として、交友関係が早稲田生に偏っていることで持ち得なかった視点や価値観を他大学のリーディング生から多く与えられました。俯瞰力の向上という意味でとても意義のあった4大学学生交流会でした。